

## Q & A 学生募集停止に関する質問

### Q 1. なぜ国際会計研究科の学生募集を停止するのですか。

本研究科は、平成14年度4月に開設され、会計とファイナンスの融合をめざし、高度職業人養成に努め、現在に至るまでに1057名の入学者を迎え、924名の修了生を社会に送り出してきました。しかしながら、昨今の社会環境の変化に鑑み、全学的な検討を行った結果、リカレント教育の強化を図るため、本研究科独自の学生募集を停止し、リソースを再編成することとなりました。

多くの会計大学院で入学者が著しく減少しており、本研究科以外にもいくつかの大学院が学生募集を停止しています。こうした状況の中、本研究科においては教員をはじめとする教育リソースを分散するよりも融合・統合してリカレント教育を充実させる体制をつくるとの判断に至りました。

このたび発表させていただきましたとおり、本研究科は2017年度より学生募集を停止することとなりますが、本研究科廃止後はその教育リソースをもとに、新たなリカレント教育を提供できる体制を築いていく予定です。

### Q 2. 「新たなリカレント教育」とは、具体的にはどういったものですか。

本研究科が持つ教育機能のコアの部分については、他の専門職大学院等に継承させて、全学的な視野で新たに特色ある教育指導体制を展開するという方針になっています。具体的な内容については現在検討されています。

### Q 3. 今回の募集停止の決定はあまりに唐突に感じます。特に本研究科の受験を検討していた者に不利益を与えことはないのですか。

今回の決定については（前述のとおり）大学全体を取り巻く社会環境の変化等を考慮して、全学的な見地から決定に至ったものです。社会環境の変化、教育リソースの有効活用等を考えると、早期に新しい体制づくりを進める必要があることから、今回の募集停止が決定されたものです。

募集停止などの決定は、事前告知等を行うことが難しいため、唐突な決定だという印象があると思います。そうした憂慮もあって2017年度から募集停止をすることとし、周知期間を設けたことをご理解ください。なお、2016年度に本研究科の受験を検討している方には、ガイドブックや入学試験要項に学生募集停止の旨のお知らせを同封して、配付をしています。

**Q 4 . 学生募集停止後も修了生が図書室を利用できるようにしてほしい。**

2017年度に学生募集を停止しても、在学生在の間は本研究科は存続します。その間は今まで同様、一定の手続きを経てアカウンティングスクール図書室を利用いただくことができます。また、本研究科が廃止され、アカウンティングスクール図書室が閉室されたあとにつきましては、本学の他の図書館・図書室を利用できるよう検討を進めているところです。

**Q 5 : 修了証明書など各種証明書の発行は、どのようになるのですか。**

上記同様、本研究科が存続している間は、事務課にて証明書の発行を行います。その後の業務移管部署につきましては検討中ですが、学内の然るべき部署において同様の手続きを行えますので、ご安心ください。

**Q 6 : 公認会計士短答式試験科目の免除申請について、どのように扱われるのですか。**

過去の公認会計士試験の受験において、公認会計士・監査審査会に科目免除申請を行い、「公認会計士試験免除通知書」を受領している場合は、その通知書を公認会計士試験に合格するまで使用することができます。

これから科目免除申請を行う場合は、本研究科事務課にて申請に必要な書類を発行いたします。